

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)ロイヤルプロ向日市 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.9	
Q1 室内環境						2.9			
1 音環境		2.6	0.15			2.6			
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	1.00						
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		1.0	0.20						
2 温熱環境		2.6	0.35			2.6			
2.1 室温制御		3.0	0.50						
1 室温		3.0	0.50						
2 外皮性能		3.0	0.17						
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	0.30						
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0			
3.1 昼光利用		3.0	0.50						
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	1.00						
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0					
4 空気質環境		3.7	0.25			3.7			
4.1 発生源対策		4.0	0.50						
1 化学汚染物質	建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆を全面的に採用。	4.0	1.00						
4.2 換気		3.0	0.30						
1 換気量		3.0	0.50						
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50						
4.3 運用管理		4.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御	全館禁煙を確認済。屋外に喫煙コーナーは無い。	5.0	0.50						
Q2 サービス性能			0.30			3.2			
1 機能性		3.2	0.40			3.2			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40						
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画		3.0	1.00						
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30						
1 広さ感・景観	売場の天井高さ3.6m以上としている。	5.0	0.33						
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33						
3 内装計画		3.0	0.33	1.0					
1.3 維持管理		3.0	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30			2.8			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		2.4	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高は3.9m以上としている。		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	[壁長さ比率] < 0.1 (0.09)		5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性	-		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	-		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保	-		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	[BPI _m]=0.82		4.8	0.20	-	-	4.8
2 自然エネルギー利用	-		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI _m]=0.73		4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	-		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	-		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	-		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	-		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水	-		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	-		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	-		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減	-		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	-		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能		4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	-		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	-		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	-		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	-		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量76%		3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止	-		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	-		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制	-		2.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	-		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	-		2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	-		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音	-		3.0	0.33	-	-	
2 振動	-		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭	-		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制	-		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制	-		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制	-		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満足している。		5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)ロイヤルプロ向日市 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			○	○											
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-										
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-										
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0		1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-										
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC 0.5 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m2K) 窓システム 4.0 屋根 2.0 外壁 2.0 床 2.0															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -															
3.1.1 昼光率															
昼光率 1.5%															
4.2.2 自然換気性能															
自然換気有効開口面積率 3.3%															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性															
執務スペース 6.0㎡/人 病床 8.0㎡/床 シングル 15.0㎡ ツイン 22.0㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応															
コンセント容量 30.0 VA/㎡															
1.2.1 広さ感・景観															
天井高 2.5 m															
1.2.2 リフレッシュスペース															
リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%															
2.2.1 躯体材料の耐用年数															
想定耐用年数 30 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
想定必要間隔 20 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
3.1.1 階高のゆとり															
階高 4.45 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ															
壁長さ比率 9.0%															
3.2 荷重のゆとり															
床荷重 4000 N/m2															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
外構緑化指数 17% 建物緑化指数 0%															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
空地率 52% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 9% 舗装面積率 42%															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
BPI/BPI _m 0.82 断熱等性能等級 対象外 相当															
2 自然エネルギー利用															
自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 80.0% 採光を満たす住戸数 80.0%															
通風を満たす教室数 80.0% 通風を満たす住戸数 80.0%															
BPI/BPI _m 非住宅 0.73 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
雨水利用率 0.0%															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
使用比率 0.0%															
3.2.1 消火剤															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1430															
3.2.3 冷媒															
オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															
見付面積比 21% 隣棟間隔指標Rw 1.33															
地表面対策面積率 9.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%															
見付面積Sb 195㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 78.716 m 基準高さHb 11.466 m															
緑地 452㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															